

# 好奇心は猫をも殺す

euphoria

人々は好奇心を満たすために、あるいは必要に駆られて未知を追い求める。

我々の誰もが学者であり、専門家であり、そして好奇心に飢えた人間だった。我々は一つの大いなる目的のために結束し、未知を明らかにするために日夜研究を続けていた。我々の中には嬉々としてその生活を享受している者も居たり、重圧に押し潰される者も居た。

我々の研究は着実に進んでいったが、その成果は秘匿された。少なくとも、その実が完全に熟すまでは。そしてついに、研究は禁忌と呼ばれる領域に達した。しかし、それをすぐさま指摘する者は我々の中には居なかった。気付かなかったからではない。己の好奇心と、その好奇の対象を自ら葬り去ることを、天秤にかけていたからだ。

## 〔アスペクト生成質問〕

- **未知。** この研究は我々の憧れであり、誇りでもあります。我々は何について研究していて、それをどのように呼んでいますか？ この研究が禁忌とされた理由はなんですか？
- **研究。** 目的があるからこそ、研究は進めなければなりません。我々はいつ、どこでこの研究を行っていますか？ 大いなる目的はこの時代にどのように関わっていますか？
- [自由アスペクト]。好きに決めてください。

## 〔共同体への質問〕

- 我々はどのように生活していますか？ 研究する場所と生活する場所はどのくらい離れていますか？ 昼に活動するのは誰で、夜に活動するのは誰ですか？
- 研究はどのように進めていますか？ 共同体に上下関係はありますか？
- 我々はどのようにして集まりましたか？ 何をきっかけに一つの目的のために結束するようになりましたか？
- 禁忌についてどのように考えていますか？ この研究を破棄すべきだと考えるのは誰で、更に推進すべきだと考えるのは誰ですか？
- 研究に行き詰まったときはどのように気分転換しますか？

## 名前

シュレディンガー、ドク、ニコラ、パラケルスス、ヒラガ、チェン、ウィリアム、オッペンハイマー、ハーバー、マリー

## 〔時代の移行〕

〔時代〕2へ移るにあたって〔展開〕を（黒い左欄か、赤い右欄か）選ぶ。以降は、選んだ方の〔展開〕が続く。

〔時代〕2へと移る。〔アイソレーション〕の終わりを予感させる出来事。それはあらゆる会話の中に潜んでおり、無視などできない。

仲間の誰かが禁忌とされる成果について、世に公表すべきだと言いました。それは目的のためかもしれませんが、研究の打ち切りを意味することになるかもしれません。この提案を言い出したのは誰ですか？

禁忌と呼ばれた成果が、何故禁忌とされたのか我々は身をもって体感しました。仲間の誰かが、これによって傷付けられています。事故はどのようなものですか？ 被害をこれ以上出さないために我々ができることはありますか？

〔時代〕3へと移る。予期されていたことが起きてしまう。〔アイソレーション〕の終わりは近い。この定めからは逃れられない。

我々は研究成果を公表しました。その成果は輝かしいものでしたが、我々が想像していた通り世には受け入れられず、これ以上研究を進めるべきではないと結論が下されました。この結論に従うのは誰で、反駁するのは誰ですか？

禁忌の制御は我々の手を離れようとしています。被害は拡大し、收拾が付きません。我々は、この成果を何らかの方法で闇に葬り去るか、このまま被害が拡大していくのを傍観するかを選択する必要がありますか？

〔遣されゆくもの〕へと移る。最後の瞬間、またはその結果。

我々の共同体は権力あるいは世論に抵抗できず、為す術もなく解体されていきます。研究成果だけでなく、日々使っていた実験器具も、研究に関係するものは全て廃棄されます。我々は禁忌を知る者として、それ相応の処分を受けることになるでしょう。残していくものはありますか？

我々の研究対象が共同体のどちらかは、完全に失われます。この損失は我々にはどうすることも出来ませんでした。それはどのようにして失われましたか？ 残された片方はその後どうなりますか？

**euphoria**

本文

**鮎方高明**

編集

**makoto.h**

イラスト

このバックドロップは、ロールプレイング・ゲーム『ダイアレクト』(Thorny Games)のアクセサリです。  
『ダイアレクト』について興味がある方は、[harrowhill.rdy.jp](http://harrowhill.rdy.jp)をご参照ください。

遊ぶにあたって、このバックドロップは自由にコピーしていただいて構いません。またクリエイティブ・コ  
モンズ「表示-非営利-継承」ライセンス範囲内で自由にご利用いただけます。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/deed.ja>

This backdrop is copyright 2022 by euphoria, euphoria.rh@gmail.com.

*Dialect* is copyright 2017 by Thorny Games, LLC. All rights are reserved.

Japanese translation published by arrangement with Thorny Games

Publication. © 2020 by Harrow Hill.



好奇心は猫をも殺す